

教科名	理科	週時間数	3時間	学年	1年
使用教科書 副教材等	教科書 「未来へひろがるサイエンスI」啓林館 副教材 「積み上げ 理科1年」明治図書 グラフィック「理科資料集」新学社 「理科ノート 1年」新学社				

教科のねらい	自然の事物・現象について、できるだけ身近な例を挙げて自然に対する関心を高め、モデル化によって基本的概念や原理・法則をわかりやすく表し、基礎・基本の定着を図る。観察・実験を行う際には、目的意識を持たせて結果からの考察を行う中で、その規則性や法則を見だし、発見に気づき、まとめる能力の育成を図る。				
授業の進め方	授業は教科書だけでなくプリント、理科ノートを利用し、授業の内容や問題練習をしたり、班活動を基本とした「話し合い活動（実験・観察）」を取り入れたりして理解を深めていく。また、定期的な単元テスト以外にもチェックテストなどで、基本的な内容を確認する。実験・観察は班別で行い、全員が関われるようにする。				
定期テスト	出題方針	授業中に行った内容を中心に、観点別の問題を出題する。 「知識・技能」については、授業で行った実験を中心に目的や安全に行う注意点、自然の事物・現象についての基本的概念や原理・法則の理解や重要語句の意味を問うものを出題する。 「思考・判断・表現」に関しては、基本的概念や原理・法則を説明するような科学的な見方や考え方の問題を出題する。			
	範囲 (予定)	1学期中間	自然の中にあふれる生命 いろいろな生物とその共通点		
		1学期期末	いろいろな生物とその共通点		
		2学期中間	光・音・力による現象		
		2学期期末	身のまわりの物質		
		学年末	活着ている地球		
評価方法	知識・技能	発言・発表、授業・実験・観察の様子、実験ノート、チェックテスト、定期テスト 他			
	思考力・判断力・表現力	発言・発表、授業の様子、実験ノートのまとめ方、定期テスト 他			
	主体的に学習に取り組む態度	授業の様子と振り返り、実験ノートのまとめ方、ノート、問題集の提出 他			
学習方法 (先生からのアドバイス等)	自然現象と学習内容の結びつきをしっかりと考え、授業で他者と聞き合い課題についての自分の考えを深める。授業では「なぜそう考えたか」を大切に、根拠の説明を通して自分の意見を深めると共に、他者に思考の道筋を理解させる。定期的に問題演習を行い、基本的な問題に対しての力をつける。評価については、評価方法や授業への取り組み方、勉強の仕方、テストの取り組み方など具体例を挙げた説明を授業の中で行う。				

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	オリエンテーション	理科の授業等の説明	
		自然の中にあふれる生命	自然観察のポイント 身のまわりの生物の観察 生物のなかま分けのしかた	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーペ・顕微鏡を使って観察できる。 ・正しくスケッチし、観察結果を記録できる。 ・生物の仲間分けについて粘り強く探求できる。
	5	いろいろな生物とその共通点	植物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の花・葉・根のつくりを判別できる。 ・植物を分類することができる。
	6		動物と特徴の分類	<ul style="list-style-type: none"> ・背骨のある動物、ない動物を知る。 ・動物を分類することができる。
7	光・音・力による現象	光による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光の進み方を説明できる。 ・凸レンズのはたらきを説明できる。 	
2	9	身のまわりの物質	音による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・音が伝わるしくみを説明できる。
	10		力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・力の種類を判別し力を矢印で表すことができる。 ・フックの法則の実験を行うことができる。 ・力がつり合うしくみを説明できる。
			いろいろな物質とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスバーナーを使うことができる。 ・物質を分類することができる。 ・密度を求めることができる。
	11		いろいろな気体とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素・二酸化炭素・窒素・水素・アンモニアの性質を説明できる。
12	水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液の濃度を計算で求めることができる。 ・溶解度曲線を読みとることができる。 		
		物質のすがたとその変化	<ul style="list-style-type: none"> ・状態変化での温度と体積の関係を説明できる。 ・蒸留の実験を行うことができる。 	
3	1	活きている地球	身近な大地	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が起きるしくみや影響を理解する。 ・地震に関する計算ができる。 ・火山のでき方と特徴を説明できる。 ・火成岩を分類することができる。 ・地層のでき方を説明できる。 ・堆積岩を分類することができる。 ・地層から年代や環境を推定することができる。
			ゆれる大地	
	2		火をふく大地	
	3		語る大地	
		1年のまとめ		